

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和08年02月06日

計画の名称	藤枝市中心市街地地区まちなかウォーカブル推進事業													
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	藤枝市													
計画の目標	大目標：人も企業も集まる持続可能なまちの実現 目標1：まちなかのストックを活かした多様なアクティビティと賑わいの創出 目標2：車中心から人中心の空間再編による居心地が良く魅力ある空間の創出 目標3：官民連携による多様な人々の出会いや交流が生まれる環境の創出													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		46	A	46	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和6年度		令和12年度
1	昼間の歩行者通行量			
	滞在快適性等向上区域内の6地点における昼間の歩行者通行量（歩行者通行量調査）	5111人 / 8時間	人 / 8時間	6400人 / 8時間
2	中心市街地の満足度			
	中心市街地に係る市民意識調査にて、中心市街地について「満足」・「まあ満足」とした回答数の割合（市民アンケート）	35%	%	39%
3	藤枝駅周辺における1日あたりの滞在人口			
	藤枝駅から半径500m圏内における1時間以上の滞在人口（日平均）「KDDI Location Analyzer」を用いた人流解析（データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル）	15748人 / 日	人 / 日	17400人 / 日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

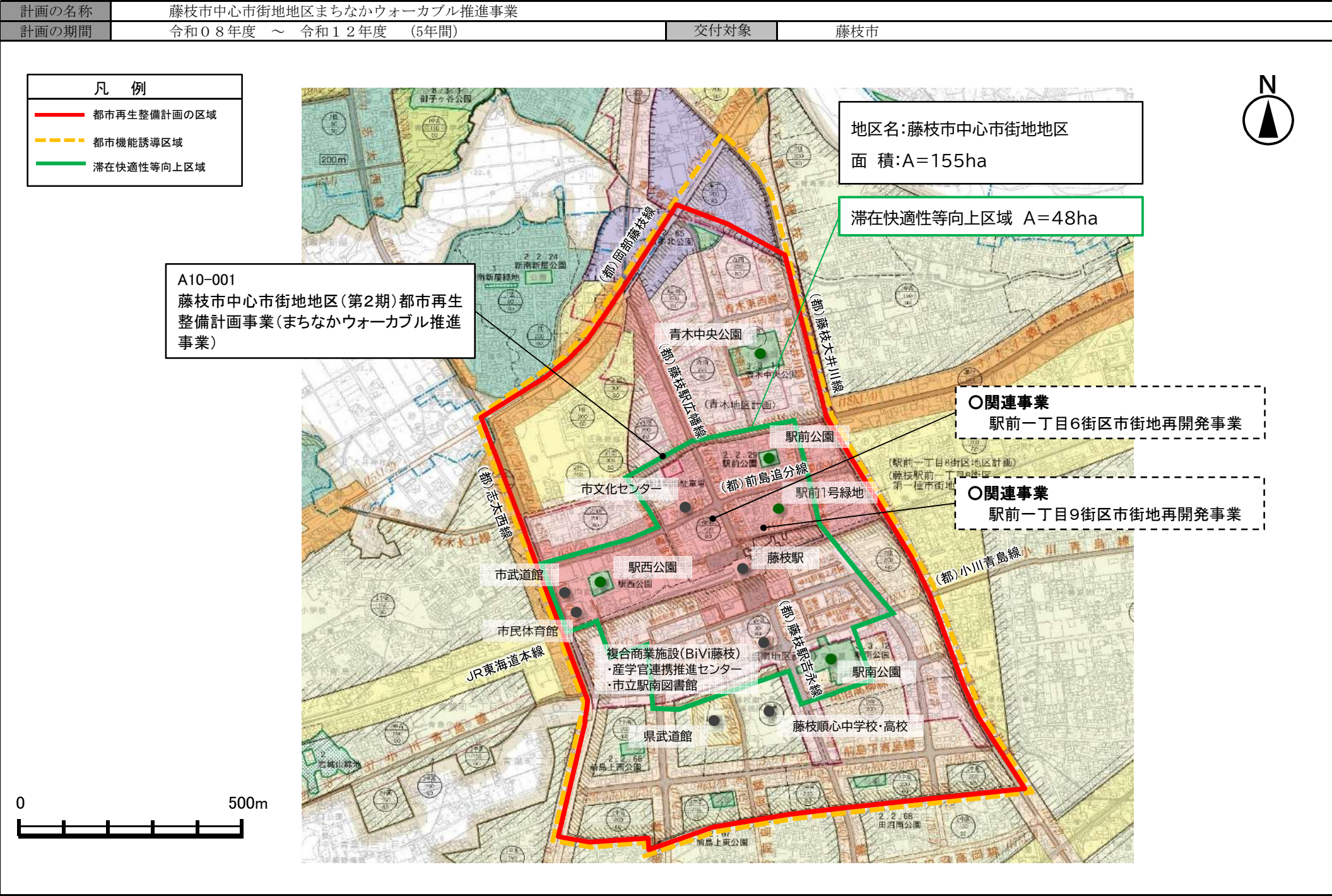
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	藤枝市中心市街地地区（第2期）都市再生整備計画事業（まちなかウォークアブル推進事業）	計画策定事業	藤枝市	■	■				46		-	
												小計						46		
											合計						46			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R08				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 社会資本整備総合交付金



事前評価チェックシート

計画の名称： 藤枝市中心市街地地区まちなかウォークابل推進事業

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]